

巣立ちだより

目次		
特集	発信する巣立ち会へ 1
	(ひとことコラム) 2
	(ひとことコラム) 3
特集	巣立ちホーム移転 4
	(おひろめ落語会) 5
特集	新年会 盛大に行われる 6
特集	開所式迫る 7
賛助会	よりお知らせ 8



発信する巣立ち会へ

年末から現在までに、巣立ち会では見学や取材の受け入れ・講演会を実施しました。その模様をご報告します。

厚生労働省 障害保健福祉部の皆様 巣立ち会グループホーム見学

昨年の12月24日、厚生労働省障害保健福祉部の塩田幸雄部長をはじめとする精神保健福祉課の皆様が、巣立ち会のグループホームを見学にみえました。

塩田部長は精神障害者の住宅問題に非常に強い関心を示されており、広く住宅支援を行っている団体として当会理事の田尾が巣立ち会の説明をさせていただいた際に、ぜひ見学していただきたいとお願したところ、年末の忙しい中にご来訪いただくことになりました。

当局では、7万2千人の社会的入院者を地域でケアする方針を打ち出しており、いきおいこちらにも熱の入った説明となりました。

皆様は、まず当会メンバー餘沢氏の居室で地域生活の状況を聞き、その後グループホーム交流室にて、田尾から説明を受けました。

皆さん非常に熱心に見学され、長期の入院者の社会復帰に住宅施策は欠かせないという認識をされているようでした。

当事者からの意見を伝えるという大役を果たした餘沢氏によると、入居の経緯や現在の生活状況を説明し、最後に「こういうグループホームを増やして下さい。作業所などももっと広くして下さい」とお願したところ、笑顔で「考えておきます」とお返事いただいたそうです。

現在当局では、精神保健福祉制度の抜本的見直しを検討中です。より良い制度にするために、当会もできる限りのご協力をしていきます。



(右が塩田部長、左が矢島精神保健福祉課長)

**三鷹市議会 斉藤議員
風と工房を見学**

また、年明けの1月7日には、三鷹市議会の斉藤議員が見学にみえました。

一通りのご説明のあと懇談会となり、気さくにメンバーと話をさせていただきました。

議員は社会福祉に対してとてもしっかりとした哲学をお持ちでした。「皆さんは今でも立派な社会の一員だが、さらに頑張るって自分にあった形で社会に出て行ってほしい」との言葉に、皆もうなずいていました。

その後、職員との懇談にも時間を割いていただき、ソーシャルアクションについての方法など、貴重なご助言をいただきました。ありがとうございました。



(右が斉藤議員、メンバー高山氏と歓談)

**朝日新聞の取材
座談会を開催**

さらに1月29日、朝日新聞の生井記者がみえて、各所からメンバー数名ずつが集まり、座談会形式の取材がありました。

「記者さんは話を聞き出すのがうまかった」(参加メンバーより)とのことで、それぞれが自分の生活史などをざくばらんに話し、お互いでコメントのやりとりもあって和やかに進みました。

すぐに記事になるということではなかったのですが、このような話し合いができたこと自体が良かった、とは参加したスタッフの感想でした。



(座談会で真剣な表情の皆さん)

**「まるベリー」の武田氏を招いて
地域向け勉強会を開催**

そして2月5日には、地域の関係者向けの勉強会を開催しました。

講師の武田氏は、島根県で社会福祉法人「桑友」を運営するかたわら、国の社会保障審議会をはじめとする各種委員も務めるなど、エネルギーに活動を続けられています。

この日は、「桑友」の活動や地域サービスの紹介に、現在議論が進んでいる介護保険との一本化への資料など、盛りだくさんの講演でした。パソコンを駆使したわかりやすい話で、会場からも質問・意見がよく出されていました。

場所を変えての懇親会では、「録音しておけばそのまま1冊の本ができた」(参加者の感想)ほどのレベルの高い議論が展開されていました。

当会では、今後も地域に向けた勉強会などを随時開催していく予定です。皆様ご参加ください。



(左から当会の田尾、JHCの寺谷氏、武田氏)

「ゆうゆう」編集班

グループホームを見学に来る

3月10日には、精神保健福祉分野ではよく知られている季刊誌「ゆうゆう」から、編集委員の方々4名がグループホームの見学にみえました。

グループホームの特集を組むということで、まずは新築アパートの巣立ちホーム（ウォームハート）に到着。部屋をまわり、「こんな部屋に住みたい…」との、ため息混じりの感想をおっしゃっていました。

次に、調布の3ヶ所のグループホームも見学。その後、交流室にて、ホームのメンバーを交えての取材となりました。取材班の質問に対して、最初は緊張して答えていたメンバーも、次第にうちとけていき、日々の思いなどを伝えていました。短い間でしたが巣立ちホームの雰囲気をつかんでいただいたようでした。

取材班のみなさん、お疲れさまでした。これらの記事は、「ゆうゆう」夏の号に掲載予定とのこと。ぜひ、大勢の人にアピールできるような、良い記事を書いてください。よろしくお願いします。



ひとことコラム「中堅職員のつぶやき」

ここ2～3年程で、結婚して子供ができて家建てた。PSWの資格をとり勤務移動があって同僚の何人かが会を辞めていった。4月からは奥さんも勤めに出るので保育園の送り迎えは僕の担当だ。現在の職場では施設長の次にキャリアが長いので3年目の2人との間でいわゆる「中堅」となっている。住宅ローンは30年で、この前苦労して確定申告を済ませた。酒量だけがが増えて腹が出た。

30歳になる前には、漠然と「30代は大変だろうな」と思っていた。新橋あたりで仲間と肩を組んでへべれけになっているようなイメージである。31歳の現在、あまりにそのイメージ通りに人生が進んでいるので驚いているところだ。

しかし、大変大変と嘆いてはられない。こんな状況でこの仕事をしている人が、全国にどれくらい

いるのだろうと考えることがある。おそらく、大勢いるのに違いない。この仕事の重要性をしっかりと理解し、それぞれのポジションで粘り強くやっているに違いない。そう考えると勇気が出てくる。

どこへいっても中堅の顔はなかなか見えてこない。外に出る暇がないのだろうと思う。だからこそ、中堅同士でどこかで連携を取って何か大きな仕事ができないかと思う。僕らもエンパワメントが必要なはずだ。どうですか、みなさん。アイデアがある人はぜひ連絡下さい。

「中堅が読むと元気が出る巣立ちだより」というのはもちろん嘘だ。しかし、編集長がこんなことを考えてやっているということは、良ければ覚えていて下さい。

巣立ち風 長門大介（31歳・9年目）

巣立ちホーム新築アパート移転！

去る2月に、巣立ちホームがなんと新築のアパートに移転いたしました！！今までは昭和の香りが漂うアパートで11年間活動していましたが、ついにそのアパートともお別れをする時となったのです。

上連雀にありながら 野崎村 とみんなから呼ばれて親しまれてきたアパートも、6畳2間に約30名もの人が肩を寄せ合って食事をしていたのも、今となっては心温まる良い思い出です。そのようなあったかい場が持てたのは、その当時、精神障害者の人でアパートを借りたいと言っては断られ続けた中、唯一声をかけて下さった大家さんに他なりません。何十年も入院をしていた人達が今、こんなに生き生きと地域で生活できるのも、その大家さんの一声がなければ始まらなかった事です。 **相田ユキさん本当に今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。**

さて、調布のGHメンバーでありますT氏の活躍により、今度もまた素敵な大家さんと巡り合うことができました。新築アパートをお借りする為、入居の際にアパート名を決めるという話になり、メンバーさんからも名前の募集をいたしました。その中から大家さんに選んでもらい「**ウォームハート**」という名前に決定しました。

ウォームハート = warm heart = 訳すと 温かい心 という意味ですね。今まで巣立ちホームが大切にしてきたもの、それが今の大家さんにも伝わったのでしょうか、活動場所は変わってもこれからも利用者の方が安心して生活できる、いつまでもそのような場であって欲しいと願っています。

これからは新メンバーさんと共に活動していきたいと思えます。皆さんよろしくお願い致します。



メンバーさんから一言

- ・ 念願のお風呂付で、洗濯機も屋内に入るのでとても嬉しいです。TVや音楽を聴いても前より隣の音が聞こえなくて良いです。K氏
- ・ 家財道具が新しくなりました。M氏
- ・ 作業所には遠くなったけれど、かえて自転車でのいい運動になります。Y氏
- ・ 生活様式がだいぶ近代的になりました。T氏
- ・ 前は同じアパートに住んでいる人へ挨拶をしても返事をしてくれないことなどあったけれど、GHは知っている人ばかりなので、そのような交流があつていいと思います。K氏

重要なお知らせ

4月から、巣立ち風も移転いたします。

住所：三鷹市野崎 2 6 6

(前の場所のすぐ裏にある、白い2階建ての建物です。電話・FAX番号はわかりません。)

お間違えのないようご注意ください。詳細は次号でご報告いたします。



巣立ちホームおひろめ会



3月22日、新しく移転しました巣立ちホーム（以下ウォームハート）で、おひろめ会が行われました。

「おひろめ+落語とお食事付き」というおもしろ企画！！ウォームハートを貸してくださった大家さんをお招きし、巣立ちのメンバーが1階の交流室に集まりました。

紹介が遅れましたが、このたびウォームハートのおひろめ会に落語をしにきてくださったのは、立川志の輔さんの一番弟子で、昨年二つ目に昇進された「立川志の吉」さんです。とてもお若く、華奢（すみません）な方でしたが、大変歯切れがよく、パワフルな印象を受けました。

【い】フローリングの新しい交流

室にテーブルを利用した手作りの壇上が設置され、座布団が並び、「テケテンテン・・・」とお囃子のCD 音楽が流れるとたちまち落語の会場に早変わり。ウォームハートの世話人である川添の挨拶で、おひろめ会が始まりました。「それでは、立川志の吉さんです！」と声があがると、志の吉さんの登場。お囃子の音楽と拍手の中、壇上に座り、さあいよいよ落語の始まりです！

志の吉さんが最近の体験をおもしろおかしく語ります。メンバーの反応もよく、みんなが壇上にくぎ付け状態。スッと小唄に入るとそのテンポのよさに引き込まれていきます。志の吉さんのこっけいな口調と表情も相まって爆笑の連続。絶えない笑い声...あっという間に一部が終わりました。

【ろ】一部と二部の間、グループホームのメンバーの紹介と大家さんへ花束贈呈が行われました。緊張の中、メンバーの一人一言。みなさん引越しを終えて、徐々に新たな暮らしになれてきたとのことでした。



【は】二部の始まり、始まり...志の吉さんが再び入場し、楽しい時間が過ぎてゆきます。

「お父ちゃん、お父ちゃん」という仕草はほんとに子供に見えるから不思議です。

「もう少し聞きたいなあ・・・」とっていると、なんと、志の吉さんのお計らいで「寿限無」を聞けることに！！最後の最後まで場内爆笑でした。

【に】「生きる上で笑いは大切です

ね」という原藤先生のお話で和やかに落語の部を終了した後、志の吉さんを交え、お寿司、ピザにオードブルと彩りゆたかな食事が並び、再び交流室がにぎわいました。

みなさん、大変有意義な時間になったのではないのでしょうか。今回は、大いに笑っていただいた会となりました。



悪天候の中、新しいグループホームに「笑い」を運んでくださった志の吉さんに感謝し、これからも、笑いが絶えない“ウォームハート”になるよう精進していきたいと思っております。よろしくお願ひします。



「巣立ち会新年会 盛大に行われる」



1月31日三鷹福祉会館3Fにて巣立ち会の新年会が行われました。今年は巣立ち風、巣立ち工房、こひつじ舎、三鷹と調布、3ヶ所のグループホームに加えて病院、施設関係者の方々、家族、地域の方々を交え、総勢100名の盛大な会になりました。

今年の新年会の目玉はなんと言っても5種類の鍋！！こひつじ舎の武田氏が指揮をとり、メンバーとスタッフが協力して作りました。一晩かけて煮込んだおでん、甘口と辛口のキムチ鍋、石狩鍋、ちゃんこ鍋と寄せ鍋。さて、そのお味は・・・？

「美味しい！」

いくつもある鍋に「次は何をたべようか？」とつい目移り。愛情たっぷりの鍋はどれも美味しく好評で、何度もおかわりをする姿が見られました。お酒も入り、会場は賑わい、温かな湯気とみんなの笑顔に包まれました。



(写真上・豪快に鮭をさばく武田氏)

メンバーによる各所の紹介が行われ、来賓の方からのメッセージの時には、“紹介の途中で司会者により打ち切られる”という面白いハプニングもおき、大いに盛り上がりました。ゲーム大会では商品をめぐって「練習から全力を尽くす！！」という力の入れよう。楽しい時間はあっという間に過ぎてゆきました。

今年初の試みである表彰式では各施設、グループホームでユーモア賞、功労賞に投票されたメンバーの名前が呼ばれ、理事長の栗田から表彰状と記念品が渡されました。ニコニコしている方、少し緊張している方などメンバーのいつもとは違った様々な表情を垣間見られました。

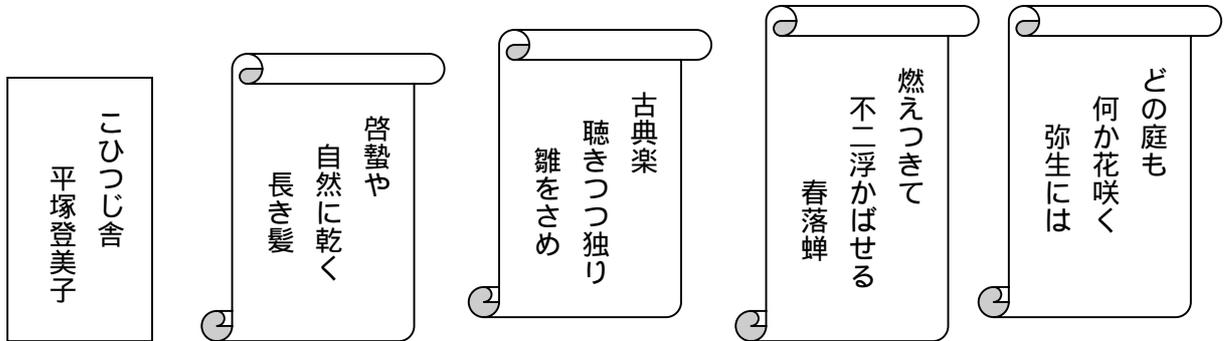
特に「特別賞」として呼ばれて、台に駆け上がった巣立ち工房の高山氏の笑顔が、とても印象に残っています。

新年会は顔合わせということだけでなく、様々な人と交流や親睦が深まり、大変有意義な会となりました。御出席頂きました皆さま、ありがとうございました。

今年もよい年になりますように！！



俳句



こひつじ舎 & 巣立ちホーム第三 開所式迫る



既にご承知の通り、来る4月12日(月)に「こひつじ舎」および「巣立ちホーム調布第三」の開所式を行います。調布職員はこの大きなイベントに先立ち、様々な企画を練って参りました。

この開所式において秋元波留夫先生をお招きして記念講演会を開催することになり、多方面からのお客様をお招きする予定です。この機会に是非日頃お会いできない方々に、我々の活動をご報告したいと思っております。

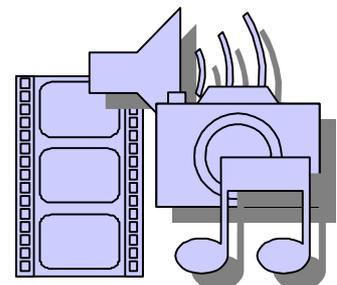
また祝賀会では、日頃の活動を皆様にとって頂くために、ビデオ上映を企画しております。このビデオ作成のために、看板娘Hさんがこひつじ舎の店舗の説明をしたり、作業所での作業

風景をメンバーYさんにして頂いたり、スタッフが早朝に就労中のメンバーD氏の仕事現場に撮影にお邪魔したりと、毎日のようにビデオ撮影がなされました。その他吉祥寺病院への日用品配達風景や、カトリア喫茶での様子 etc. 盛りだくさんの内容で上映を予定しています。

なかには俳優顔負けの演技で登場する方も……

撮影担当であるH職員はこのビデオ編集のために自腹でパソコン講座を受講し、他職員から叱咤激励され、慣れない仕事に必死に取り組んでいます。

現在、メンバー、スタッフが協力しつつ楽しいものに仕上げようと奮闘中の毎日です。是非お楽しみに！！



～ 賛助会員募集のお知らせ ～

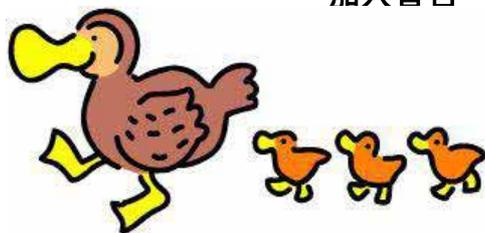
巣立ち会は、「安心して生きがいをもって地域で生活できる」「自尊心をもって生きる」「助け合える仲間がいる」という理念のもと、精神障害者の社会的自立と参加を目指し、地域活動を進めております。

巣立ち会では、賛助会員を募集しています。巣立ち会の活動に共感してくださる方、是非ご協力をお願いいたします。

会費は運営費の一部として大切にに使わせていただき、「すだちだより」にて活動をお知らせいたします。

賛助会費

年間 一口 3,000円
 郵便振替 口座番号 00140-4-542860
 加入者名 巣立ち会 賛助会



巣立ち賛助会 会長 國井良彦

社会福祉法人巣立ち会
 巣立ち風
 〒181-0014 三鷹市野崎 2-6-6 TEL&FAX 0422-34-2761
 巣立ち工房
 〒181-0015 三鷹市大沢 6-3-50 TEL&FAX 0422-33-5316
 こひつじ舎
 〒182-0007 調布市菊野台 1-20-1 TEL&FAX 0424-88-4433
 巣立ちホーム
 〒181-0015 三鷹市大沢 4-15-3 ウォームハート 101 TEL&FAX 0422-30-2125
 巣立ちホーム調布
 〒182-0017 調布市深大寺元町 5-2-9 パーク神代 401 TEL&FAX 0424-98-1322
 巣立ちホーム調布第2
 〒182-0011 調布市深大寺北町 5-38-5 柿ノ木ハイツ 101 TEL&FAX 0424-98-6838
 巣立ちホーム調布第3
 〒182-0011 調布市深大寺北町 5-38-10 白樺荘 TEL&FAX 0424-98-5150